

第1章

設定の手順

このマザーボードは各ユーザのシステムに適応した設定ができるように、いくつかの変更可能なジャンパーがボード上に設置されています。この章ではそれぞれのジャンパーの設定について説明します。

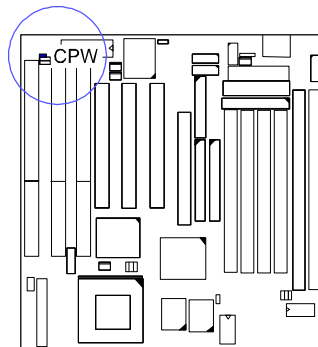
以下のステップに従い、コンピュータの組み立て及び設定を進めてください。

- ステップ1
システムジャンパーの設定
- ステップ2
メモリモジュールの装着
- ステップ3
CPUの装着
- ステップ4
拡張カードの装着
- ステップ5
各ケーブル類と電源の接続
- ステップ6
BIOSの設定
- ステップ7
サポートソフトの設定


注意: このマザーボードをケースに設置する際に、電気ドリルを使用する場合は静電気防止リストを着用してください。チップのピンに損傷を与えないために、推奨するトルクは 5.0 ~ 8.0 kg/cmです。

パスワードの解除 CPW








このジャンパーで、パスワードの設定を有効または無効にします。パスワードを忘れた場合は、「Enable」に設定してパスワードを解除できます。



Enable 

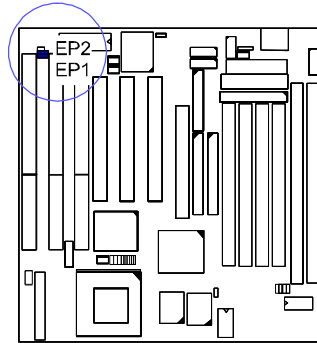
Disable
(default) 

FLASH EPROM タイプの選択: EP1, EP2

1MB	Intel 28F001	EP2	
	MXIC 28F1000	EP1	
	SST 29EE010	EP2	
	ATMEL AT29C010	EP1	
2MB	Winbond 29C020	EP2	
	SST 29EE020	EP2	
	ATMEL AT29C020	EP1	

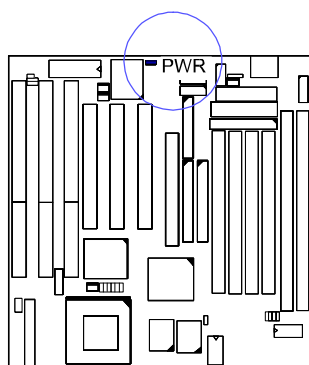
この2つのジャンパーで、Flash EPROMチップのタイプを選択できます。このジャンパー設定は、このボードの製造上のデフォルト値に設定されています。マザーボードに装着さ

れているFlash ROMのタイプを確認する場合は、チップのステッカーをはがして確認してください。



電源タイプの選択 PWR

使用する電源のタイプ（AT電源またはATX電源）を選択します。電源コネクタが1種類しか搭載されていない場合は、このジャンパーは製造元より接続されます。



ATX Power Supply
AT Power Supply with Remote Feature



AT Power Supply without Remote Feature
(default)

データ転送モードの選択 SRAM

このジャンパーでCPUがSRAMにデータを転送する方法(読み込み・書き込み)を選択します。CyrixまたはIBM CPUを使用する場合は、2-3 pinのペアに設定します。この機能のより詳しい設定方法については「BIOS設定」のLinear Burst Modeの項目を参照してください。

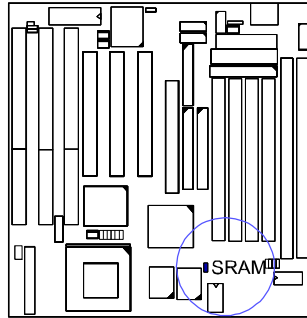


Intel Burst
(default)
For
Intel, AMD,
Cyrix,
IBM CPUs



Linear Burst

For
Cyrix,
IBM CPUs

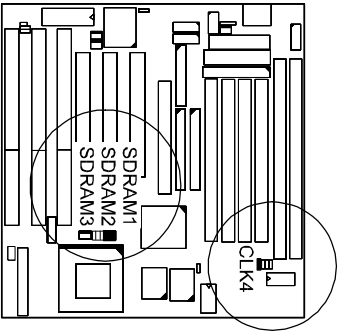


DIMM周波数の設定: CLK4

SDRAM Freq.
= CPU External Freq.



SDRAM Freq.
= AGP Bus Freq.



システム周波数の設定 SDRAM1, SDRAM2, SDRAM3

SDRAM Freq.
= CPU External Freq.



SDRAM Freq.
= AGP External Freq.



100 MHz
83 MHz



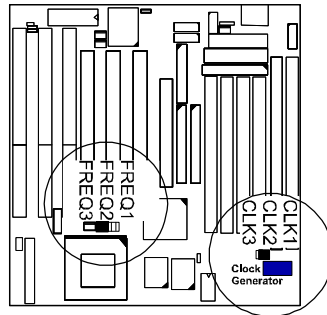
75 MHz
66 MHz



66 MHz



CPU 外部クロック(バス)周波数の 設定: CLK1, CLK2, CLK3

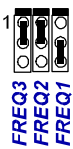



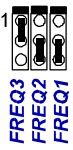

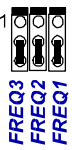



使用するCPUの速度に合わせて、下記の表を参考にジャンパーの設定をしてください。

100 MHz	 CLK3 CLK2 CLK1	75 MHz	 CLK3 CLK2 CLK1
83 MHz	 CLK3 CLK2 CLK1	66 MHz	 CLK3 CLK2 CLK1

倍速モードの設定: FREQ1, FREQ2, FREQ3

これら3つのジャンパーは、CPUの内部周波数と外部クロックとの比率の組み合わせで設定します。

2 x		3 x		4 x		5 x	
2.5 x		3.5 x		4.5 x		5.5 x	

余白